

平成22年度 第2回沖縄県公共工事入札契約適正化委員会 議事概要

開催日及び場所	平成22年11月2日 沖縄県庁11階第1・2会議室	
出席者氏名	幸喜 令信 宮城 千春 野崎 四郎 有住 康則 小那覇 涼子	
審議対象期間	平成22年4月1日 ~ 平成22年7月31日	
再苦情処理件数	件数 0件	(備考)
入札審議件数	総件数 227件	
一般競争入札	12件	
共同企業体型	件	
指名競争入札		
指名競争入札	178件	
随意契約	37件	
	意見・質問	
委員からの意見・質問、それに対する回答	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申の内容	なし	なし

**平成22年度第2回 沖縄県公共工事入札契約適正化委員会
抽出事案一覧**

一般競争入札			
	工事名	工種	担当課・所
①	H22新石垣空港用地造成工事(3工区)	土木一式工事	土木建築部新石垣空港課
②	H22新石垣空港用地造成工事(5工区)	土木一式工事	土木建築部新石垣空港建設事務所
③	伊是名東部地区畑地かんがい施設工事(1工区)	土木一式工事	農林水産部北部農林水産振興センター

指名競争入札			
	工事名	工種	担当課・所
④	名護運天港線橋梁整備工事(上部工その1)	土木一式工事	土木建築部北部土木事務所
⑤	金武湾港(平安座南地区)平安座第一航路浚渫工事(H22-1)	土木一式工事	土木建築部港湾課
⑥	宮古第一地区水質保全対策工事	土木一式工事	農林水産部宮古農林水産振興センター
⑦	新城西地区ほ場整備工事(2工区)	土木一式工事	農林水産部宮古農林水産振興センター
⑧	仲間予防治山工事	土木一式工事	農林水産部南部林業事務所

随意契約			
	工事名	工種	担当課・所
⑨	国道331号二見バイパス1号トンネル新設工事(その1)	土木一式工事	土木建築部北部土木事務所
⑩	南北大東地区地上デジタル放送伝送機器製作設置等工事	土木・建築・電気・管・電気通信工事	企画部情報政策課

平成22年度 第2回沖縄県公共工事入札契約適正化委員会 議事概要

意見・質問	回答
<p>Q 1 「H 2 2 新石垣空港用地造成工事（3工区）」は、総合評価方式により発注していますが、施工計画を評価する体制について説明してください。</p>	<p>A 1 工事を監督する所管事務所の所長及び所長が指名する者で構成する技術審査会で審査・評価を行った後、土木建築部長、統括監、主務課長などで構成する一般競争入札参加資格委員会で評価の確認を行っています。</p>
<p>Q 2 「H 2 2 新石垣空港用地造成工事（5工区）」も総合評価方式により発注していますが、評価項目の施工計画は、どのような設定をしたのですか。</p>	<p>A 2 「赤土流出防止対策」及び「施工上配慮すべき事項」を設定し、これに対する施工計画を入札参加者に提出してもらいました。</p>
<p>Q 3 総合評価結果で評価項目の施工計画が0点となっている業者がありますが、その理由を教えてください。</p>	<p>A 3 課題への対応や配慮事項が現地の環境条件を踏まえておりの確、適切であれば0点、工夫が見られれば7.5点、優れた工夫が見られれば15点を配点しています。</p>
<p>Q 4 「南北大東地区地上デジタル放送伝送機器製作設置等工事」の企画提案書を提出した企業は何社ありましたか。</p>	<p>A 4 当工事の説明会には複数の業者が参加し、問い合わせも複数ありましたが、結局、企画提案書を提出したのは、契約業者1社のみでした。 この事業は、設計から施工、保守運用まで行うことを契約の要件としており、特に保守運用を県と共同で行うという点で、他社の参加が難しかったものと考えています。</p>
<p>Q 5 今年度から原則5千万円以上は一般競争入札を適用するということですが、「宮古第一地区水質保全対策工事」は指名競争入札を行っています。その理由を説明してください。</p>	<p>A 5 原則5千万円以上は一般競争入札を適用することとなっていますが、「本県の気象条件を考慮した適期施工に配慮しなければならない工事」など、一般競争によりがたい場合は指名競争入札を適用することができるとして運用しています。</p>

Q 6

「国道331号二見バイパス1号トンネル新設工事（その1）」の見積結果報告書に見積額が複数記入されていますが、その意味を教えてください。

Q 7

「H22新石垣空港用地造成工事（3工区）」及び「同（5工区）」は、評価値の一番高い者が他の工区を落札したということで、二番目に評価値の高い者が落札しています。

競争参加資格確認の時点では、他の工区はまだ落札者はいないという認識でよいですか。

Q 8

総合評価方式は、価格面と技術面とを総合的に評価して落札者を決定するということですが、価格評価と技術評価のバランスについてはどのように考えていますか。

Q 9

一般競争入札は技術や実績が無い者も参加するので、総合評価方式を適用しているということですか。

Q 6

随意契約の場合においても、あらかじめ予定価格を定めておりますが、本件は、3回目の見積もり合わせで見積額が予定価格以下となり、契約に至ったものです。

A 7

本件は複数の工区を同時に発注した中の一部の工事ですが、それらは基本的に各手続きも同時に行いました。

したがって、競争参加資格確認の時点では、他の工区の落札者はいません。

なお、開札日及び一般競争入札参加資格委員会においては、各工区の取り分け順位により開札や審議を行い、落札者を決定します。

A 8

総合評価方式では、技術評価点を入札額で除した「評価値」を用いることによって、最もコストパフォーマンスに優れた提案を技術と価格の両面から客観的に判定し採用しています。

発注する工事の規模や内容、技術的難易度に応じて総合評価型式ごとの評価点や評価基準及び標準配点を定めており、基本的に工事の規模が大きく、技術的難易度が高くなるほど技術評価のウエイトを大きくしています。

A 9

入札・契約手続きにおける透明性、公平性、競争性をより一層向上させるとともに、価格と品質が総合的により優れた内容の調達を実現するため、総合評価方式一般競争入札の導入拡大を図っているところです。